

# コロナとの共生の時代における分析化学の果たす役割

主催 日本学術会議

共催 公益社団法人 日本分析化学会 一般社団法人 日本分析機器工業会  
日本学術振興会計測分析プラットフォーム第193委員会



2020年 11月11日(水) 13:00-17:00

- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 13:00 | 開会のご挨拶<br><b>加藤 昌子</b> 北海道大学 日本学術会議連携会員<br>第24期日本学術会議会員                                 | 14:55 | 講演 4<br><b>新型コロナウイルス検出法の開発と<br/>迅速分析体制の構築</b><br><b>四方 正光</b> 株式会社島津製作所 分析計測事業部 グループ長   |
| 13:05 | 趣旨説明<br><b>齋藤 公児</b> 日本製鉄 日本学術会議連携会員  | 15:25 | 講演 5<br><b>下水モニタリングによる新型コロナウイルス<br/>の流行検知</b><br><b>本多 了</b> 金沢大学 准教授   |
| 司会    | <b>竹内 孝江</b> 奈良女子大学 日本学術会議連携会員<br><b>佐藤 緑</b> 産業技術総合研究所 日本学術会議連携会員                      | 15:55 | 休憩  |
| 13:10 | 講演 1<br><b>救急現場の最前線からみたCOVID-19<br/>一救命のために今後何が必要かー</b><br><b>竹内 一郎</b> 横浜市大救急医学教室 主任教授 | 16:00 | パネルディスカッション<br><b>「分析化学的にコロナを考える：<br/>その果たす役割 新しい計測法とは」</b><br>ファシリテーター<br><b>玉田 薫</b> 九州大学先端物質化学研究所 主幹教授<br>日本学術会議会員<br>パネラー<br><b>竹内 一郎</b><br><b>杉沢 寿志</b><br><b>夏目 徹</b><br><b>四方 正光</b><br><b>本多 了</b> |
| 13:40 | 講演 2<br><b>ポストコロナ時代の分析機器メーカーとしての<br/>目指すべき方向性</b><br><b>杉沢 寿志</b> 一般社団法人日本分析機器工業会 技術委員長 | 16:55 | 閉会のご挨拶<br><b>一村信吾</b> 早稲田大学 第24期分析化学分科会委員長  |
| 14:10 | 講演 3<br><b>AI駆動型実験ロボットによる科学研究の加速</b><br><b>夏目 徹</b> 産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門 首席研究員          | 17:00 | 閉会  |
| 14:40 | 休憩  |       |   |



## 参加申込方法

参加を希望される方は下記URLまたは  
右のコードにより事前申込をお願いします。



<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0067.html>

お問い合わせ：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当  
電話 03-3403-6295